



新緑がまぶしい季節になりましたね。

さわやかな日差しと風に誘われて、外へでかけたくなります。

思い切り体を動かしたり、ご家族おそろいでお出かけするのもいいですね♪

今月の『木族の家通信』では、夏に向けての暮らしと住まいの準備や、ちょっとしたヒントをお届けします。



季節の住まい・暮らし方のヒント

夏に向けて、グリーンカーテンを育てよう

グリーンカーテンとは、つる性植物を、窓を覆うように育てて作る「自然のカーテン」のこと。簡単でエコな涼み方として、最近注目されています。

自然のカーテンはいいこといっぱい

葉っぱの間をぬけてくる風は、葉の蒸散による冷却効果で天然のエアコンのよう。夏場の日差しを遮って、室温が上がるのを防ぐので、エアコン代も削減できます。

キュウリやゴーヤなどの野菜で作ると収穫もできて、一石二鳥。お子さまのおられる家庭では、朝顔を育てると夏休みの宿題に役立つかもしれません。準備するものは苗や土、プランターやツルをはわせるネットなど。ホームセンターで相談すると、作り方をアドバイスしてもらえます。今年の夏は、自然のカーテンで「環境にやさしく」、「おいしく」過ごしてみたいはいかがでしょう。



今日からできる・ちょっとエコ

卵の殻を、洗いものや掃除に使おう

いつも捨てている卵の殻は、実はたくさんの用途があります。役立つ利用法をご紹介しますので、試してみてくださいはいかがでしょう。

洗いものに

中まで手が届きにくいグラスや水筒、瓶などは、少量の洗剤と細かい砕いた卵の殻を入れてシェイクするとピカピカに。洗いにくいミキサーやミルの掃除も、少量の洗剤と卵の殻、水を入れ、殻が粉々になるまで回すだけ。

研磨剤の役割もするので刃もきれいになりますよ。



住まいのお手入れに

布の袋に細かい砕いた卵の殻を入れ、少し湿らせて敷居を拭くと、ふすまや障子の滑りがよくなります。

洗濯にも

汚れたふきんは、お湯を沸かした鍋に、砕いた卵の殻を一緒に入れて煮ると真っ白に。煮沸するので、除菌効果もあります。運動靴を洗う時は、洗剤と一緒に細かく砕いた卵の殻を入れると洗浄力がアップします。

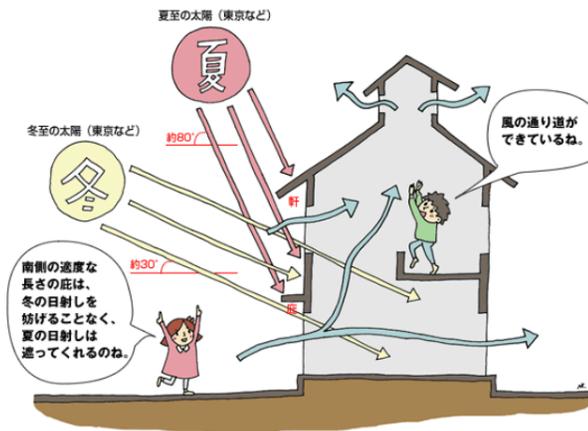
親子すまいかた教室

環境に配慮した住まい

監修 横浜国立大学教授 木村千博 さん

自然条件を考えた住まいの工夫

夏場、じんわり汗がにじんできたり、冬、手先足先がかじかんでくると、ついついエアコンのスイッチを入れてしまいがちです。でも、周囲の自然条件を考えて住まいを計画すると、冷房や暖房に頼らなくても、暑さ、寒さをしのぎやすい住まいをつくることができます。たとえば、太陽が通る位置は夏と冬とで違い、日射しの角度も大きい時では約50度の差があります。こうした特性を考えて、軒(のき)や庇(ひさし)を適度な長さにすると、夏は日射しを遮(さ)えぎり、冬は日射しを取り込むことができます。それから、風が吹いてくる方向は、場所や時刻によって違います。室内にうまく風を取り入れられるように窓の向きや高さを工夫し、風の通り道をつくれれば、夏場でもあまり冷房をつけなくてもしのぐことができるでしょう。さらに、植物を上手に利用することで環境にやさしい住まいをつくることができます。家のすぐ南側に落葉樹を植えると、夏は木陰ができますが、冬になると葉が落ちるので、家の中への日射しを遮りません。つまり室内への自然の日射調整になるのです。また最近では、屋根や屋上で緑を育てる技術も開発され、夏の室温上昇を抑える一つの方法として注目されています。



なども隙間(すきま)のないようにつくり、室内の「気密」を高め、室内と屋外の熱の出入りをできるだけ少なくします。こうすることで、冷暖房で消費するエネルギーを減らすことができるのです。もちろん、冷暖房の効率が良いからと言って、一年中外の空気を遮断して生活することが良いわけではありません。例えば、夏場でも暑さが厳しくない時には、窓を開けて冷房をしないなど、機械の力に頼りすぎず、環境にやさしい暮らし方をこころがけることが大切です。

住まいを長持ちさせる

日本の住宅の平均的な寿命は約30年といわれています。イギリス141年、アメリカ96年、フランス86年、ドイツ79年などに比べてとても短いのが実

情です。日本は土地の値段が高く、住まい自体にあまりお金をかけられないため、長い期間の使用に耐えられる住まいが少ないといわれています。そして、家族構成や時代の変化に合わなくなった住まいは、簡単に壊され、建て替えられてきました。一軒の住まいには、コンクリート、鉄、木、タイル、紙、ステ

ンレスなどたくさんの材料が使われています。住まいの寿命が短いと、それらの材料が、短時間で大量に廃棄されることとなり、私達が住む環境に大きな負担をかけることになるのです。ですから、住まいを長持ちさせることは、環境を守るために重要なことなのです。

住まいを長持ちさせるには、その土地の気候にあった材料を選び、家族構成やライフスタイルの変化にも対応できるように、間取りに余裕をもたせることが必要です。また、住む人が環境への影響を考え、長く大切に住もうとする心構えも重要です。もちろんちゃんと手入れをすることも大事です。汚れや傷みをほっておかず、こまめに手入れをし、修繕すれば、気持ちよく生活ができますし、結果的に住まいが長持ちすることになるのです。

新しい技術で省エネルギー

厳寒(げんかん)、酷暑(こくしよ)の時期に暖房も冷房も使わない生活なんて、今ではちょっと想像できません。とはいえ、暖房の暖かい空気や冷房の涼しい空気を無駄にしないように効果的に使うには、昔ながらの日本の住まいにはない新しい技術も必要になります。それは、室内に対する屋外の温度の影響を小さくし、冷房や暖房の熱を逃がしにくくする技術です。

一般的には、屋根や外壁、床の部分に、熱の伝わりにくい「断熱材」という材料を入れます。さらに、窓ガラスの部分にペアガラスといって、空気の層をさんだ2重のガラスを使います。壁と建具の継ぎ目

現場実況中継

～ホームページで毎日更新中の「現場のようす」をご紹介します～

◇安曇野市豊科 Tさま邸 (新築・5/25～27見学会)



太陽光パネル設置

日当りのよい所なので発電量が楽しみです。

◇松本市里山辺 Hさま邸 (新築・6/8～10見学会)



FRP防水工事

バルコニーの防水工事です。

◇塩尻市塩尻町 Nさま邸 (新築・6/22～24見学会)



オンドルエコノ工事

蓄熱砂利が搬入されました。

◇塩尻市広丘吉田 Nさま邸 (新築・8月完成予定)



上棟

お天気に恵まれ、無事上棟しました。

◇松本市島内 Tさま邸 (オンドルエコノ改装)



断熱施工

オンドルエコノの下地の断熱材です。

◇安曇野市 Gさま邸 (新築・9月完成予定)



地鎮祭

安全第一で、気を引き締めて、工事していきます。

日本の巨樹紹介

大樹からのエネルギーを求めて

NO. 16 「阿智の藤」 (あちのふじ)

岡山県倉敷市阿智 推定樹齢伝承:550年
樹種:アケボノフジ 樹高:13m 目通り幹囲:2.2m



倉敷の町の中心、美観地区のすぐ北、鶴形山公園の阿智神社の境内にある岡山県天然記念物「阿智の藤」は、アケボノフジという珍種です。根回り約1.5m、根元周囲約2.2mで、同種の藤としては全国一の巨樹とされています。20m四方に枝を広げ、時季には淡紅色の花が



藤棚に咲きほこり見応えがあります。阿智の藤は樹齢は50の歳とも55の歳ともいわれます。寄る年波には勝てず、一時は枯死寸前に陥ったこともありますが、地域住民らが働きかけ、活性剤を注射したり、せん定、棚改修など、樹勢回復に取り組んでいます。



5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
2013年	赤口	先勝 地鎮上棟吉日	友引 憲法記念日	先負 みどりの日	仏滅 こどもの日	大安 振替休日	赤口	先勝 地鎮上棟吉日	友引	仏滅	大安 地鎮上棟吉日	赤口 地鎮上棟吉日	先勝	友引 地鎮上棟吉日	すまい りんく 発行日	仏滅	大安	赤口 地鎮上棟吉日	先勝	友引 地鎮上棟吉日	先負	仏滅	大安 地鎮上棟吉日	赤口 地鎮上棟吉日	完成見学会 会場: 安曇野市豊科高家			仏滅	大安	赤口 地鎮祭吉日	先勝